

学力状況の経年変化 (平成 19-26 年度)

—全国学力・学習状況調査の平均正答率から—

・全国調査における全教科・区分の平均正答率を合算したのち、対全国比を算出してH19とH26の変化を比較した。
 【※対全国比=各市町村の平均正答率÷全国平均正答率】

・本資料の分類は、H19とH26の2点での各市町村の数値の変化のみを比較したもので、H19からH26までの8年間の推移を表したものではない。

・重点対策市町村を、 で示した。

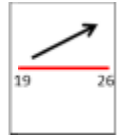



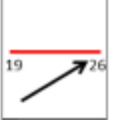

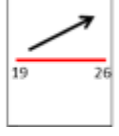
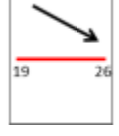


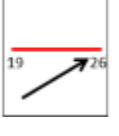

・H26の対全国比がH25より上昇した場合は「△」、下降した場合は「▼」を記した。

※調査に参加した学校が小学校・中学校それぞれ1校のみの町村については掲載していない。

※全国調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、教育活動の一側面に過ぎない。

平均正答率が H19 より上昇

平均正答率が H19 より下降

		平均正答率が H19 より上昇	平均正答率が H19 より下降
小学校	上位で変化 全国平均より	 ▼島本町 △河南町 ▼茨木市 ▼吹田市 ▼池田市 ▼豊中市 △豊能町	 ▼箕面市
	またいで変化 全国平均を		 ▼熊取町 △能勢町 ▼枚方市 ▼交野市
	下位で変化 全国平均より	 ▼寝屋川市 ▼泉南市 ▼堺市 ▼門真市 ▼摂津市 △羽曳野市 △忠岡町 ▼泉佐野市 ▼大東市 ▼大阪市 ▼大阪狭山市 ▼高槻市 ▼守口市	 △岸和田市 ▼和泉市 ▼岬町 △富田林市 ▼藤井寺市 ▼東大阪市 ▼泉大津市 ▼河内長野市 ▼柏原市 △太子町 ▼貝塚市 ▼阪南市 ▼松原市 ▼高石市 ▼千早赤阪村 ▼四條畷市 ▼八尾市
中学校	上位で変化 全国平均より	 ▼吹田市 △大阪狭山市 ▼箕面市	 △池田市 △島本町 ▼豊能町
	またいで変化 全国平均を	 △高石市 △交野市 ▼茨木市 △高槻市 △富田林市 △豊中市	
	下位で変化 全国平均より	 △四條畷市 △羽曳野市 △門真市 ▼大東市 △貝塚市 △泉南市 ▼熊取町 △泉大津市 △堺市 △松原市 △岸和田市 △泉佐野市 ▼寝屋川市 ▼河内長野市 ▼守口市 △大阪市 ▼八尾市 △和泉市	 ▼摂津市 ▼阪南市 ▼東大阪市 △柏原市 ▼枚方市 ▼能勢町 ▼藤井寺市